

## 沖縄県医師会理事に就任して

理事 村山 貞之  
(琉球大学医学部附属病院長)



このたび、沖縄県医師会の理事を拝命いたしました村山貞之と申します。須加原現琉球大学医学部長の後を受けて琉大病院長に就任しました関係上、理事を仰せつかることになりました。

琉球大学に赴任しまして12年になります。県医師会のお仕事で、まず驚いたことは、県医師会医学会が活発に行われ、県内医師の学術的な活動を支えている点でした。島嶼島の沖縄は、自己完結型医療を全うする必要があり、その情報収集の場としての役割も担っているのだと合点したわけであります。その後、私の医師会での業務としましては、琉大病院医師会の代議員として11年間努めて参りました。その他には、放射線科医会会長として分科会長会議に、一時期地域医療委員として委員会に出席し意見を述べるなど行って参りました。昨年度から琉大病院医師会の副会長になりましたので、会長代理としての会議出席もありました。

沖縄県医師会についての感想を述べさせていただくと、とにかく activity が高いの一言に尽きると思います。早速、数回理事会に出席させていただきましたが、議題、報告の内容で、重要で勉強になることが多々あります。宮城信雄会長を始め、副会長や常任理事の先生方のリー

ダーシップには敬服いたします。私の理事としての務めは、学術担当ということになると思います。出だしに書きました沖縄県医師会医学会の学術担当も私の仕事になると思いますので、身が引き締まる思いです。もう一つ大きな仕事は、地域医療再生基金でオール沖縄のシミュレーションセンターが琉球大学医学部の敷地内に設置されることが決まりましたが、この施設を沖縄の医療の発展のために軌道に乗せていくことも役割と思っています。

私は放射線科医です。画像診断や放射線治療は、現代医療において重要さを増してきており、琉球大学医学部内だけではなく、沖縄県に先端医療を導入するべく頑張ってきております。今年度には、へき地医療をサポートするための遠隔画像診断センターを設立する予定です。また、琉大病院で安全管理対策室長や医療福祉支援センター長などを歴任して参りましたので、現在の医療の難しさや、いかに医療連携が重要であるかも勉強してきているつもりです。これまでの経験が医師会のお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、よろしく願います。